

HAMURA ZOO

40th Anniversary

- 昭和**
- 46年 アメリカがアメリカンスクール用地を日本へ返還
 - 50年 C58 蒸気機関車が設置される
 - 53年 5月 羽村町動物公園開園
 - 55年 2月 アミメキリン「サクラ」多摩動物公園から来園
 - 56年 8月 アミメキリン「タカコ」誕生
 - 59年 5月 入園者 200 万人達成
 - 63年 11月 開園 10 周年記念式典
- 平成**
- 3年 11月 市制施行により「羽村市動物公園」に
 - 6年 7月 グラントシマウマ「夢吉」誕生
 - 7年 6月 入園者 500 万人達成
 - 10年 3月 アミメキリン「ユウキ」多摩動物公園から来園
 - 4月 開園 20 周年記念式典
 - 15年 4月 サバンナ園オープン
 - 16年 5月 入園者 700 万人達成
 - 20年 4月 指定管理者制度導入
 - 10月 開園 30 周年記念式典
 - 21年 12月 アミメキリン 29 年ぶりに誕生
 - 22年 7月 インドタテガミヤマアラシ 30 年ぶりに誕生
 - 9月 松林小学校児童の園内通学路登校始まる
 - 27年 4月 サーバルキヤット誕生
 - 29年 3月 入園者 1,000 万人達成
 - 29年 7月 アミメキリン「ゲンキ」誕生
 - 30年 5月 グラントシマウマ「ナナカ」誕生
 - 8月 エントランスなど新設
 - 10月 開園 40 周年記念式典



▲蒸気機関車設置記念式典（昭和 50 年）



▲建設中の動物公園（昭和 51 年）



▲全国初の町営動物公園が開園（昭和 53 年）



▲アミメキリン（オス）誕生（平成 29 年）

▲サーバルキヤット 4 頭誕生（平成 27 年）



▲入園者 1,000 万人達成（平成 29 年）

ミニコラム（開園当時の担当職員の話）

■動物公園が造られた理由は？

地域の子どもたちのために「情操教育の場」と「市民の憩いの場」を造ろうと動物公園が計画されました。猛獣は飼育せず、安全でかつ子どもが喜ぶ動物公園になるような動物を選びました。また、公園としても親しまれるように、遊べる場所も設置しました。

■蒸気機関車はどうしてあるの？

開園当時、担当だった職員の知り合いに鉄道関係の方がいたため、当時ブームだった蒸気機関車を譲り受けることができました。

祝・開園40周年

昭和53（1978）年5月、羽村町動物公園がオープンしました。開園時には動物が全56種類公開され、全国で初の町営動物公園と大きな話題になりました。

それから40年、現在入園者数は、年間20万人を超えています。80種類以上の動物たちが暮らし、動物たちの自然な生活が見られるようにと混合飼育された「サバンナ園」や、子どもが動物と触れ合える「なかよし動物園」などさまざまな工夫が加えられ、子どもから大人まで楽しめる人気の動物公園となっています。



▲市公式サイトQRコード

問合せ 土木課公園管理係 ☎ 284 / 羽村市動物公園 ☎ 579-4041

